

児童図書研究室だより

2010年3月

児童図書関係の受賞作品について

大人の本の賞といえば、芥川賞や直木賞をはじめ、様々な賞がありますが、子どもの本の賞も、知名度はそれには及びませんが、全国学校図書館協議会主催の「日本絵本賞」、日本児童文学者協会主催の「日本児童文学者協会賞」など団体主催のもの、「講談社児童文学新人賞」「小学館児童出版文化賞」など出版社主催のもの等、日本国内だけでもたくさんあります。

作家にちなんだ賞もいくつかあります。岡山市出身の坪田譲治の功績を称えて制定された「坪田譲治文学賞」もそのひとつです。毎年、受賞の際には、特に県内で反響を呼びますが、昨年、瀬尾まいこさんの「戸村飯店 青春100連発」受賞の発表があったときも、問い合わせが多数ありました。歴代の受賞者には、江国香織さん、岡山県出身の重松清さん、先月亡くなった立松和平さんもおられます。この賞は、大人も子どもも共有できる世界を描いた文学作品を対象としているということで、一般書として出版されている本が受賞することもあります。今年の受賞作品は、浜野京子さんの「トーキョー・クロスロード」ですが、この本は、児童書として出版されたものです。

作家にちなんだ賞はこのほか「小川未明文学賞」「新美南吉児童文学賞」「ひろすけ童話賞」「棕鳩十児童文学賞」などがあります。

外国の賞は、アメリカの児童文学賞のうちで最も大きな賞であるニューベリー賞、絵本の賞で有名なコールデコット賞、イギリスのCILIPカーネギー賞、作家の業績全体を評価して与えられる国際アンデルセン賞などがあります。

児童図書研究室では、3月19日から5月20日まで、2009年度に国内の賞を受賞した児童書で主なものを展示します。取り上げる賞は以下のものです。

日本絵本賞、日本児童文学者協会賞、日本児童文学者協会新人賞、
日本児童文芸家協会賞、児童文芸新人賞、坪田譲治文学賞、
小川未明文学賞、赤い鳥文学賞、赤い鳥さし絵賞、
新美南吉児童文学賞、ひろすけ童話賞、棕鳩十児童文学賞、
福田清人賞、福島正実記念SF童話賞、講談社出版文化賞・絵本賞、
小学館児童出版文化賞、産経児童出版文化大賞、けんぶち絵本の里大賞

児童書の賞に関する研究書は、次のものの所蔵があります。

- 「児童の賞事典」日外アソシエーツ/編 紀伊國屋書店/発売 2009.7
 - 「賞をとった子どもの本」ルス・アレソ/著 玉川大学出版部/発行 2009.12
 - 「日本児童文学大事典第3巻」
大阪国際児童文学館/編 大日本図書/発行 1993
 - 「日本の児童文学賞」
東京子ども図書館/編 日本エディタースクール出版部/発行 1998
 - 「童話作家になるための本」
日本児童文芸家協会/著 東洋経済新報社/発行 2000
 - 「年報こどもの図書館2007年版」
児童図書館協会/編 日本図書館協会/発行 2008
 - 雑誌「こどもの本」日本児童図書出版協会/発行
- ※毎年12月号にその年度の主要受賞作品が記載されています。

21年度児童図書研究室の展示を振り返って

3/19～5/20 2008年度児童文学賞 主な受賞作品

5/22～7/15 韓国の絵本

7/17～9/16 ヴァージニア・リー・バートン

9/18～11/15 児童書でみる虫の世界

**11/21～1/20 岡山ゆかりの児童文学作家
八束澄子・小手毬るい**

**1/22～3/17 モーリス・センダック
～「かいじゅうたちのいるところ」を中心に～**

本年度は作家をテーマにしたものを中心に展示しました。来年度はジャンルや年齢別に関係あるテーマも考えていきたいと思います。

※どの展示もブックリストがあります。児童カウンターにお尋ねください。



平成21年度ヨムヨム巡回展示について

21年度のヨムヨム巡回展示は、美作地区での展示を奈義町立図書館、備中地区での展示を笠岡市立図書館で行いました。備中地区の巡回展示は、「ヨムヨム巡回展示in笠岡市立図書館」として、3月10日(水)から3月14日(日)まで開催し、平成22年1月出版の全点購入児童図書を展示しました。初日の3月10日は、午後2時から、県立図書館司書によるミニ講座「最近の子どもの本について」を行いました。

奈義町立図書館では、四方の壁一面が本棚という素敵な空間の中で、笠岡市立図書館では、今年度オープンしたばかりの広々とした子ども図書館で展示し、1か月分ではありますが、多くの方に全点購入児童図書を見ていただくことができました。児童図書研究室の役割や資料の詳細などについて、さらに理解が広がっていくように、今後もこの事業を続けていきたいと思っています。

岡山県立図書館 サービス第一課 児童資料班

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-6-30

tel(086)224-1288

[E-mail: libnet@libnet.pref.okayama.jp](mailto:libnet@libnet.pref.okayama.jp)